

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

樽町地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実績評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

当施設の担当圏域は、4地区の連合町内会（綱島・樽町・大曾根・師岡）及び5地区の民児協（綱島地区が東西に分かれます）を受け持ち、人口81,710人（65歳以上の高齢者は、約13,625人）となる、非常に大きなエリアを担っております。（平成30年3月現在）

担当圏域の人口は毎年増加し続けて、地域ニーズも多様となっています。今年度も、4地区の地域福祉保健計画「ひっとプラン港北」を関係機関や各団体組織等との連携をさらに深めて、「地域の支え合い・地域力・地域活動の推進」のサポートを中心に取組みました。

更に、昨年度より総合相談の強化として地域包括支援センターの相談員の増員がなされたことにより、綱島地区において出張相談、今年度より師岡地区でも出張相談を開始し、より身近な地域で相談を行うことができました。

(2) 総合相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

誰もが住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、身近な相談窓口として幅広い相談に応じ、関係機関との密接な連携体制の構築と維持に努めながら相談者と一緒に課題の解決に取り組みました。

さらに、高齢者・障害者の世帯内重複ケースにも対応するため、関係機関との会議（港北区地域自立支援協議会・こうほく高次脳機能障害ネットワーク会議）等にも積極的に参加し、「地域住民」に対する支援という観点を持ちながら、障害系相談機関と円滑に連携して支援を行いました。

また、今年度はこれまでの課題となっていた、遠方となる師岡地区内での相談対応を行うべく、地区社協の協力を得ながら、毎月1回の出張相談を実現することができました。また、昨年度より開始した、綱島地区での出張相談も軌道に乗り、さらに身近で地域密着型の相談窓口としての役割を果たしております。

（1）適時適切な面接、訪問による相談対応を行うことができました。

29年度総合相談件数5,306件（月平均：442件）

※前年度比273件増

相談内容に応じて生活支援コーディネーター、地域活動交流のコーディネーターと保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士による包括3職種職員により情報共有し、各々の専門性に基づいて、適時適切に相談援助・情報提供を行いました。

(2) 関係機関との連携

日頃から区役所をはじめとした関係機関との緊密な連携体制が構築出来ています。区役所担当者との連携や指導を仰ぎながら、混乱なく円滑に総合相談や調整等が行えました。

(3) 5地区の民児協への訪問を継続し、各委員との連携強化に努めました。

(4) 各種分野の会議へ地域包括支援センター及び地域交流職員、生活支援コーディネーターが積極的に参加し、関係機関や区内9CPの連携を図りながら、当事者やご家族の負担や不安を抱えさせることなく、効率かつ効果的な課題解決する相談窓口としての対応を行うことができました。

〈主な参加会議として〉

- ・高齢者支援ネットワーク
- ・認知症連絡会議
- ・高齢者虐待防止事業
- ・各事業所運営推進会議
- ・高次脳機能障害支援ネットワーク会議
- ・移動情報センター運営会議 他

(3) 各事業の連携

今年度も、地域活動交流、地域包括支援センター、生活支援の各職員が連携しながら業務にあたることができました。また、地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域の関係団体等と共にケース課題の共有や解決方法並びに生活支援等の取組を検討するための「地域ケア会議」を5職種が連携しながら実施しております。

部門間連携

各職員が足並みを揃えて、効率的効果的に職務を遂行するため、毎年職場の年間目標を掲げております。さらに、定例職員会議等で各事業の進捗状況や課題・問題等の情報交換を行い、全職員の相互理解と共通の認識を常に深めながら、連携を図ってまいりました。

(1) 情報共有として

- 事務所ミーティング
- デイサービスミーティング

(2) 施設の運営管理及び業務等の検討の場として

- 運営連絡調整会議
- 協力医ミーティング
- 各部門会議（地域活動交流・地域包括支援センター・デイサービス・居宅介護支援）
- 給食委員会
- 環境整備委員会
- ホームページ委員会
- 保健衛生委員会
- 防災委員会
- 事故防止・再発防止委員会

(3) 主な事業として

- 地域との関わり（各種活動への訪問、会議等への参加他）
（民児協、ひっとプラン、インフォーマル団体他）
- 介護予防支援（ロコモ予防・元気づくりステーション支援・サークル支援・認知症予防・サポーター養成講座等）
- 介護者支援（介護者交流会、高次脳機能障害ネットワーク）
- 地域ケア会議の開催ほか

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

(1) 職員体制について

「横浜市地域ケアプラザ事業実施要綱」「地域包括支援センター運営事業実施要綱」「横浜市地域ケアプラザの管理運営に関する協定書」及び介護保険法の諸規程に基づき事業運営・施設管理等実施しました。

また、相談体制の強化を目的に、運営法人が独自に事務所「スペースつなしま」を開設し、平日の出張相談を実施。さらに今年度は師岡地区での出張相談をはじめ、広域エリアを担当する施設として、地域に積極的に出て活動を行いました。

(2) 人材の育成について

研修計画に基づき外部・法人・施設内研修を効果的効率的に実施し、資質の向上及びサービスの充実に努めました。

また、計画以外でも必要なものについては適宜研修を実施し、技術の向上に努めました。

(3) 公正・中立の確保について

- ・営利目的等は予め禁止し、実施されているイベント内容に気を配り公的施設としての中立に努めました。
- ・月1回の「貸館受付会」で利用が重なった場合話し合い、譲り合いで調整していただきました。
- ・相談からのケアマネジャーへつなげる場合は他法人も紹介いたしました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

今年度も、5職種が中心となり、各関係団体等との連携をさらに強化するため「ひっとプラン」の各地区推進委員会や民児協の定例会等に積極的に出席し、地域のネットワーク構築のための支援に努め、情報交換や要援護者の把握や相談ケースの共有を図りながら、日常的な関係を持つことができました。

また、ひっとプラン港北では、第3期計画のスタートに伴い、各地区では、より積極的な話し合いが重ねられ、テーマごとに分科会やネットワーク会議等が設けられ、具体的な活動へと発展しております。

日々行われている地域の活動や会合（ひっとプラン港北・民児協ほか）へ積極的に参加し、計画推進や課題に対する取組みを地域の関係団体の方々と行いながら、さらなる関係構築に努めました。また、地域ケア会議を通じて、地域の現状や課題を共有し、今後の方針等を協議することができました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

各対象の交流促進については下記①参照。世代間交流サロン「みんなのたまり場」では、子育て世代以外の参加を狙い、港北むかしばなしの会「たまたばこ」さんの協力によりミニ企画を実施しました。また、地域のサロンやお祭りに地域包括支援センターや生活支援コーディネーターと協力して参加し、地域のニーズを確認しました。

①【障害児者支援】

・「こうほくからふる」

中学生版 9月実施（参加者・ボランティア9名）

高校生版 12月実施（参加者・ボランティア11名）

小学生版 2月実施（参加者・ボランティア11名）

・「たるとも」支援（毎月1回実施）

・「にじいろ」支援（毎月1回実施）

・「こうほくなつとも」参加（2コース）

・放課後等デイサービス事業所の「音楽ムーブメント」を7月実施。外出が困難な障害児へ地域への外出機会と音楽を通しての交流機会を提供。(40名参加)

【子育て支援】

・「パパと一緒に遊ぼう」(パパの子育て支援企画)

7月実施(参加者17組49名)

11月実施(北綱島小学校図書室会場とし、ケアプラザから遠い綱島地域の参加促進を図る。16組43名)

2月実施(参加者19組54名)

・パパサークル主催の「パピマナブ」支援(7月・参加者17名)

【高齢含む多世代支援】

・世代間交流サロン「みんなのたまり場」に子育て世代以外の参加を狙い、港北むかしばなしの会「たまたまてばこ」さんの協力により10月にミニ企画実施。(参加者31名中成人のみ6名)

②【地域支援】

お祭り等への参加により情報収集・関係構築。

・11月3日大曾根福祉祭り

・11月12日綱島東イーストフェスティバル

・10月1日樽地区健民祭

・10月8日綱島地区、大曾根地区健民祭他

施設開所15周年事業「キララまつり」実行委員会や民児協・ひっとプラン等の会議への参加で関係を構築し、地域のサロン等へ登録ボランティアをコーディネートしたり、地域包括支援センター看護師や生活支援コーディネーターと出張しました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

ケアプラザ貸館利用団体、ボランティア団体の紹介・発表の場である「たるまち芸術祭」を5月に開催しました。ステージ参加6団体、展示参加6団体及び当CPデイ利用者。当日来館者は約170名でした。

また、貸館の空き状況閲覧表のリアルタイム更新により、キャンセル等の空室利用がスムーズに行われるよう努めました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

学校のボランティア体験、施設見学等を積極的に受け入れました。

・福祉保健協力団体(団体Ⅱ)のケアプラザ事業等の協力数18件(26団体のうち14団体) デイサービスへのボランティア協力1団体

・グリーンライフセミナーの継続実施。3月～7月及び8月～12月に毎月1回5回コース(参加者延43名)、8月に全世代対象「草木染体験教室」(参加者13名)

・学校の施設見学等受入れ状況。

中学校職業体験3校、小学校施設見学2校4件、学生ボラ体験2日間延べ8名、ボラリーグ港北2日間延べ4名。

福祉保健協力団体(団体Ⅱ)に地域貢献状況等について、ヒアリングと情報提供を強化しました。またボランティア情報コーナーを設置後、ボランティアについての窓口問合せが増加しました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

担当エリアが広く、情報が得にくい・届きにくいエリアが生じないよう各職員分担して地域へ赴きました。また、所内の情報共有の効率化を検討し、月1回、地域包括支援センターと地域情報等の共有と参加分担を打合せました。それに基づいて地域包括

支援センター3職種及び生活支援コーディネーターと民児協、ひっとプラン会議、地域のサロン等に参加し、情報提供やケアプラザ啓発を分担して実施しました。

・民児協52回、ひっとプラン会議53回、地域のサロン等82回参加)

また、隔月1回5職種(包括3職種及び生活支援C0)が集まり、事業内容や広報(周知)方法について検討しました。

地域活動交流のブログ継続に加え、地域のホームページへの記事掲載も、生活支援コーディネーターと地域分担し、積極的に実施しました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

これまで通り、5職種が連携しながら地域への関わりを持つことができました。既存の団体組織に対する支援も行いながら、それぞれの現状と課題を再確認しつつ、さらには地域としての課題を区役所・区社協と共有し、支援の方向性を検討することができました。

また、包括レベル地域ケア会議では各地区の活動拠点・団体の地図を記載した地図を作成しグループワークの際に使用いたしました。地域の特性や実情により様々な取組を行っていることを共有することができました。

更に、包括支援センターとの協働によるチャレンジ百寿健康教室、スリーA支援者養成講座等を開催。地域交流の各種事業において、さらに社会参加のきっかけにしてもらえるよう包括支援センターとの協同事業を案内しました。

(2) 地域アセスメント(ニーズ・資源の把握・分析)

地域支援計画・アセスメントシートを更新し、所内5職種と上半期の振返りを実施。

上半期の振返り状況について、連絡会の場で区役所、区社協、区内ケアプラザの生活支援コーディネーターに報告しました。所内5職種と地域支援計画・アセスメントシートの振返りをする中で、地区ごとの現状と課題点等を共有し、方向性を再確認いたしました。

(3) 連携・協議の場

今後地域での見守り体制を効果的に広げていくため、近隣地区の取り組みを共有、活動体制強化や新たな取り組みの創出を目的として、3地区合同の包括レベル地域ケア会議を開催し、協議体として報告いたしました。

包括レベル地域ケア会議では各地区の取り組み状況、課題、今後の見守り体制について検討することができました。各地区の活動拠点・団体の地図を記載した地図を作成しグループワークの際に使用しましたが、地域の特性や実状により様々な取組を行っていることも共有することができ、今後の活動についての気づきを参加者に提供することが出来ました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

4つの連合エリアを担当し、それぞれの地区で課題も違うため、地域の会議、イベント等に積極的に参加し情報収集に努めました。

毎月行われている区域の生活支援コーディネーター連絡会、定例カンファにて情報共有を図りました。

生活支援体制整備事業アセスメント研修にて地区担当者地域の現状と課題の抽出。生活支援コーディネーター連絡会では各地区の移動・外出に関する課題について共有いたしました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

生活支援コーディネーター、地域活動交流のコーディネーターと保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士による包括3職種職員は、常に連携を取りながら業務に取り組み、5職種体制で地域包括支援ネットワークの構築に向け取り組みました。ひっとプラン港北や民生委員児童委員協議会定例会等への継続的な参加、個別レベル地域ケア会議、包括レベル地域ケア会議開催により、地域包括支援ネットワーク構築に向けた地域のニーズ把握、他職種連携による地域での見守り体制の構築、チームでの継続的な支援を行うことができました。また生活支援コーディネーター、地域活動交流のコーディネーターと連携し社会資源マップの作成や統計データを活用しより、ネットワーク構築に向け具体的な検討ができるよう取り組みました

〈具体的な取り組み〉

- ・地域ケア会議(個別レベル・包括レベル)の開催
- ・民生委員・児童委員協議会定例会への参加
- ・「ひっとプラン港北」への参加、推進支援
- ・老人会や介護予防サークルへの参加、協力
- ・認知症に関する普及啓発(サポーター養成講座、キャラバン・メイト懇談会など)
- ・高次脳機能障害ネットワークへの参加、協力
- ・運営推進会議(地域密着型サービス事業所)への参加
- ・区福祉保健センター、区社会福祉協議会との定例カンファレンスによる情報共有、検討
- ・所内での5職種会議、連絡調整会議の実施

② 実態把握

ケアプラザ担当地域の民生委員児童委員協議会(綱島東・綱島西・樽町・大曾根・師岡町)への定期訪問や、毎月区役所・区社協とともに開催する、「ケアプラザ定例カンファレンス」などの場を活かし定期的な情報交換を実施、地域における高齢者の実態の大勢を把握しました。総合相談支援により得られた情報はデータ管理を行い地域ごとの傾向なども把握できる仕組みを継続しました。

〈具体的な取り組み〉

- ・「ひっとプラン港北」への参加、推進支援
- ・民生委員児童委員協議会への参加
- ・地域ケア会議(個別レベル・包括レベル)の開催

- ・ケアプラザ定例カンファレンスでの情報共有
- ・インフォーマルサービス情報誌の作成
- ・5職種会議等の所内会議を実施（地域支援計画・アセスメントシートの振返りをすることで、地区ごとの現状と課題点等を共有し、方向性の確認）

③ 総合相談支援

（１）相談・訪問事業

地域の身近な相談窓口として高齢者に関するさまざまな相談を受け付け、地域で暮らす住民の生活を支援するための幅広い相談に対応、適時適切に必要な援助・情報提供等を行いました。今年度も樽町ケアプラザ出張相談の継続、また新たに師岡地区での出張相談を開始し、よりきめ細かい相談対応を行う事ができ相談件数の増加にもつながりました。

〈実績〉

29年度総合相談件数5,306件（月平均：442件） ※前年度比273件増

（２）関係機関との連携

区役所をはじめ社会福祉協議会、障害者支援機関、各法律団体、警察、金融機関等関係機関と適宜必要に応じ連携を図り、当事者やご家族の負担や不安を抱えさせることなく、効率的且つ効果的な課題解決窓口としてワンストップサービスに努めました。

〈具体的な取り組み〉

- ・樽町ケアプラザ出張相談（スペースつなしま） 毎週 月曜日～金曜日
- ・師岡地区出張相談 毎月第2火曜日

（２）権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

・成年後見制度や権利擁護事業、消費者保護等に関する法制度を理解し、区役所、区社協、法律専門職、消費生活センター等、適宜連携し必要に応じ専門機関へつなぎ適切な支援を行いました。

・区役所と協力し「成年後見サポートネット」への参加を通じ日々の権利擁護に関わる動向や理解を深めるとともに、他専門職と顔の見える関係の構築に努めました。また、成年後見制度に関する講座、相談会を定期的開催し、成年後見制度や消費者被害等権利擁護に関する普及啓発を実施いたしました。

〈主な取り組みとして〉

- ・6月10日 法テラスによる弁護士無料相談会 2名
- ・7月15日、8月6日 市民向け 相続遺言後見教室
講座：55名/個別相談：12名
- ・10月14日 行政書士による無料相談会 1名
- ・成年後見サポートネット、分科会への参加専門職との連携体制の構築（年4回）

② 高齢者虐待への対応

(1) 横浜市の実施計画に基づき虐待及び虐待が疑われる相談・通報については地域包括支援センターとしてのネットワークを活用し情報収集を行い、速やかに区役所へ報告、連携をとりながら支援を行いました。ひきつづき区役所と協力し高齢者虐待防止連絡会や虐待防止作業部会への参加し早期発見対応が可能となるよう日頃より顔の見える関係づくり構築に努めました。地域の福祉保健に関わる支援者や事業所と連携し高齢者虐待防止ハンドブック研修等を通じた虐待防止の普及啓発に努めました。

(2) 養護者支援の一環として、介護者を対象とした「介護者のつどい」を毎月開催。家族の会とも連携を図りながら養護者支援を行いました。今年度は介護者家族の交流会とともに介護に関する講座を年3回開催しました。

〈主な取り組みとして〉

・ 介護者のつどい（うち3回 講座同時開催）

毎月第3金曜日開催 計52名参加

・ 民児協定例会や樽町ケアプラザ担当エリアケアマネジャーに対して港北区虐待防止ハンドブックの周知を実施。

・ 港北区虐待防止連絡会、高齢者虐待防止作業部会、介護従事者向け研修への参加、協力。（虐待防止に関わる啓発や関係機関との連携強化のため）

③ 認知症

認知症について正しい知識、理解を持ち、住み慣れた地域で安心して暮らしてつづけることを目的に地域住民や学校、企業等に向け認知症サポーター養成講座等を開催しました。また年2回キャラバン・メイト懇談会を開催し、キャラバン・メイト活動の継続的な活動支援を行いました。また「港北区認知症連絡会」への参加や徘徊高齢者の発見・保護のためのシステム「かえるネット」の普及啓発を行いました。

(1) 地域住民、学校を対象とした認知症サポーター養成講座等、認知症理解についての普及啓発を行いました。

平成29年

7月14日 師岡町会館（女性の会、師岡地区社協、ひっとプラン師岡向け） 34名

9月14日 師岡コミュニティハウス（市民向け） 30名

10月2日 師岡コミュニティハウス（市民向け） 17名

10月13日 師岡パトロール（認知症講座） 30名

11月12日 綱島東小イーストフェスティバル（小学生向け） 80名

11月23日 樽町ケアプラザきららまつり（親子向け） 132名

平成30年

1月18日 横浜市立樽町中学校（福祉委員会 生徒） 18名

2月9日 女性の会、師岡地区社協、ひっとプラン師岡共催（認知症講座） 57名

2月9日 三菱東京UFJ銀行綱島支店（認知症講座） 25名

3月19日 アピタ横浜綱島店（従業員） 89名

合計 538名

(2) キャラバン・メイト懇談会の開催や講座準備のための打ち合わせを適宜行いました。

平成29年6月7日 第1回 認知症キャラバン・メイト懇談会

平成30年2月22日 第2回 認知症キャラバン・メイト懇談会

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 地域のインフォーマルサービスや関係機関等の地域資源の情報収集に努めた。
→大曾根ささえあいネットワークに参加。(6/15、11/30参加)
- ・5地区民生委員児童委員協議会の継続的参加。→(52回参加)
 - ・ひっとプラン港北地区別推進会議の継続的参加。→(53回参加)
 - ・区内デイサービス、デイケア、インフォーマルサービス情報誌2017年度版の更新発行。
→港北区インフォーマル情報誌2017年度版の更新及び配布。(6月発行)
 - ・樽町ケアプラザエリア内のデイサービス、デイケア、訪問看護情報誌の発行。
→(MSW・訪問看護・ケアマネジャーとの懇談会にてMSWと訪問看護の情報誌を9月20日発行)
 - ・地域住民や関係機関等に対し、介護保険制度やサービス、ケアマネジャーの役割などについて周知している。
→2/17 駒岡CP・馬場CP・師岡コミュニティーハウス・樽町CP共催
「介護保険について」地域住民に介護保険サービスについて周知。(19名参加)
 - 7/19 綱島西民生委員児童委員協議会定例会
ミニ講座「介護保険申請～ケアマネジャー契約～」実施。(30名参加)

② 医療・介護の連携推進支援

【関係機関との連携体制構築支援】

- ケアマネジャーと医療機関等とのネットワークの構築のための取組み(情報交換会等)を実施した。
- 在宅医療機関と連携し、地域の医療・介護連携を目的に市民向け講演会、他職種連携会議、研修開催等の連携・協力を実施した。
- ・6/10「第3回 地域連携医療協会(ACMC)勉強会～在宅療養中の急変に地域でどう対応するか～」(35名参加)
 - ・10/27「3CP共催「医師とCMとの懇談会」」(37名参加)
 - ・7/12 高齢者支援ネットワーク 市民講座「在宅医療・介護とは何か～専門職が教える在宅医療のき・ほ・ん」(64名参加)
 - ・1/24 高齢者支援ネットワーク「在宅療養における薬局・薬剤師の有効活用「くすり」について」(64名参加)

③ ケアマネジャー支援

【ケアマネジャーの実践力向上支援】

[ケアマネジャースキルアップを目的に研修会を開催]

- ・樽町CP主催 「事例検討会」(全3回)
① 5/23 (31名参加) ② 9/26 (41名参加) ③ 1/23 (33名参加)
- ・樽町CP主催 「エンパワーメントについて」
① 10/24 (33名参加)

[新任ケアマネジャー対象にスキルアップを目的に開催]

- ・3CP(大豆戸CP・篠原CP・樽町CP)共催 「新任ケアマネジャー向け勉強会」
① 7/21「横浜市総合保健医療センター・しらさぎ苑(説明と見学)」
(15名参加)
- ② 9/14「介護支援で必要になる疾病の知識・主治医との連携について」
(26名参加)

③ 12/14 「生活保護制度について」(15名参加)

④ 3/23 「先輩 CM に聞いてみよう」(10名参加)

⑤ 8/1 「(デイサービス) 施設見学会」(9名参加)

⑥ 12/14 「もっと知りたい! 行政書士と成年後見制度」(7名参加)

【関係機関との連携体制構築支援】

・ 3 CP (篠原 CP・大豆戸 CP・樽町 CP) 共催

10/27 「医師とケアマネジャー懇談会」(39名参加)

・ 樽町 CP 主催

5/17 「樽町地区民生委員児童委員とケアマネジャーとの交流会」(45名参加)

・ 樽町 CP 主催

2/15 「師岡地区民生委員児童委員とケアマネジャーとのランチ交流会」

(30名参加)

【その他】

・ 区の主マネ連絡会より代表2名選出して定例会や役員会に出席し、共同事業の企画や運営の広報支援を行った。

・ 支援困難ケースについては、随時相談に応じ、担当者会議の出席や同行訪問、助言を行った。必要であれば地域ケア会議開催を行った。

・ ケアマネジャーからの相談から把握した地域ニーズを、生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターと共有し、地域全体の支援に活かした。5職種で隔月に情報共有の場を設けている。その他、法人内で隔月に3職種で地域の情報共有を行っている。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

【高齢者支援ネットワーク】

○地域の保健・福祉・医療サービスやインフォーマルサービスなど、地域のお他職種による会議等を開催した。

[世話人会]区内の主マネより代表2名が参加。

① 5/19 ② 6/9 ③ 8/4 ④ 9/1 ⑤ 11/15 ⑥ 12/13 ⑦ 2/15

⑧ 4/14

[研修会]

① 7/12 「市民講座 在宅医療・介護とは何か～専門職が教える在宅医療のき・ほ・ん～」(64名)

② 10/19 「誤嚥性肺炎を繰り返す方を在宅でどのように支援するのか?」(114名参加)

③ 1/24 「在宅医療における薬局・薬剤師の有効活用「くすり」について」(93名)

【地域ケア会議】

○個別ケース地域ケア会議を開催し、他職種の専門的視点を交えて検討することで、個別支援の充実、参加者の資質向上、関係職種の連携を図ることができた。

[個別レベル]

① 4月3日大曾根地区 「住み慣れた地域の中で生活を継続していくために必要な見守り体制とは」

② 5月31日綱島西地区 「認知症の夫婦の見守りと関係者の連携について」

- ③8月3日綱島西地区「物忘れがあるひとり暮らし高齢者の見守りと、関係者の連携について」
- ④9月1日大曽根地区「認知症や独居高齢者が住み慣れた地域で生活するためにできること」
- ⑤11月2日綱島東地区「住み慣れた自宅で最後まで暮らしたい希望を実現するために必要な支援と準備」
- ⑥12月6日綱島東地区「家族の支援が難しいひとり暮らし高齢者への支援ネットワーク」
- ⑦1月25日綱島西地区「認知症があっても自宅で一人暮らしを継続したい 希望を実現するために必要な支援と準備」
- [包括レベル]
- 地域ケア会議開催後の振り返り等を通して、課題解決に向けた連携・資源づくり・資源開発などに向けて取り組むことができた。
- ①10月19日（樽町、大曽根、師岡地区合同）
「地域の高齢者の見守り体制について」 マップを用いて見守り状況の共有
- ②2月6日（綱島西、綱島東、綱島上町、綱島台地区合同）
「地域の高齢者の見守り・つながりについて」
- 【樽町ケアサークル】**
- 関係機関との連携体制構築支援として、世話人会義の参加や研修企画等の後方支援を行い、樽町地域ケアプラザ地域にある事業所（ケアマネジャー、デイサービス相談員、サービス提供責任者）のネットワークの強化に努めた。
- ①6/16「こんなケアマネさん、デイ相談員さん、サ責さん あるある検討会！」（20名）
- ②11/23「きらら祭り（樽町地域ケアプラザ15周年）」において、100円介護便利グッズの展示や福祉用具の展示を実施して地域との繋がりを目標にサークルの活動周知を行った。
- ③3/30「みんなで作ろう！樽町地域ソレマル情報マップ」（20名）

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）
- 事業対象者、要支援者の主体性・意欲を引出し、目標志向型の介護予防ケアマネジメントに努めた。
- プランの中にフォーマルサービス以外の地域のインフォーマルサービス等を取り込み、地域の特性を活かした支援に努めた。
- 委託を行う場合はケアマネジャーが、適切なケアマネジメントを実践できるよう随時支援した。
- 【研修会】**
- 4/27横浜市樽町地域ケアプラザ主催「介護予防・日常生活支援総合事業について」（26名参加）
- 【港北区インフォーマル情報2017】**
- 地域のインフォーマルサービスの情報提供として情報誌の更新編集を行いケアマネジャーに配布した。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

区役所担当者や包括職員並びに地域交流・生活支援コーディネーターと共に、各地域の特色を活かしながら、介護予防の促進を図りました。

- (1) 地域介護予防活動支援において、講師の派遣調整など介護予防グループの運営に対して継続的に支援を行いました。また地域の状況を見極めながら、地域包括支援システム構築のため、榎町地区に新たな活動拠点（スリーAたる）の立ち上げを実施しました。
- (2) 毎月地域の様々な団体活動等へ参加し、健康づくりや介護予防等の体操や情報提供、また地域リハビリテーション支援事業の団体活動への導入、広報誌を通じての啓発を実施しました。
- (3) 講座を入れつつ介護予防グループ間の交流を通して、抱える問題の把握と適切な助言を行いながら、各組織の活性化や継続活動の援助を実施しました。
- (4) ロコモ予防教室を前期・後期の2期で開催し、体操、口腔、栄養に認知症予防の観点を加え介護予防普及啓発活動を実施していく。参加状況に地域格差があるため、ケアプラザ開催以外の場所として今年度は師岡地区で開催しました。

【GoGo 健康元気づくり教室の開催】

内容：健康体操・口腔ケア・栄養改善・認知症予防（シナプソロジー・コグニサイズ）

前期 6月21日～7月19日（3日間）

会場：師岡コミュニティハウス（トレッサ横浜内）

後期 10月13日～2月2日（5日間）

会場：横浜市榎町地域ケアプラザ

参加者：延べ119名

【スリーA 支援者養成講座】

実施日：5月8日・5月29日・6月6日・6月12日

参加者：延べ91名

【スリーA 支援者養成講座フォローアップ講座】

実施日：9月19日、10月3日（2日間）

参加者：延べ25名

○スリーA 支援者養成講座から「スリーA たる」が立ち上がり、自主化に向けた活動を継続中（月一回）

【おなか元気教室】

実施日：1月25日

参加者：16名

【コーヒー講座】

講演「現代人が欲するコーヒーとカフェ」

実施日：12月16日

「コーヒー博士によるコーヒー講座」（3回コース）

実施日：3月18日、4月1日、4月15日（3日間）

参加者：延べ57名

【コグニサイズ教室】

実施日：3月23日

参加者：18名

5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

<p>(1) 施設の維持管理について</p> <p>管理運営に関する基本協定書に基づく「施設の維持保全等」について、次のとおり適正・適切な維持管理に努めました。</p> <p>(1) 日常的な維持管理等について</p> <p>①日常清掃業務を専門業者に委託し、清潔で明るい施設づくりに努めました。</p> <p>②施設の夜間の防火・防犯巡視点検警備を専門業者に委託し、施設の安全に努めました。</p> <p>③職員の日常建物設備点検（設備・防火確認簿）により、施設の維持保全に努めました。</p> <p>(2) 定期的な維持管理等について</p> <p>①建物管理業務を専門業者に委託し、建物・設備の維持管理を定期的実施しました。</p> <p>②施設・設備保守点検業務を専門業者に委託し、施設の維持管理に努めました。</p> <p>(3) 上記保守点検等の結果を受けて、修繕等の必要に応じ区と協議し、適時・適切に対応し、施設の維持保全管理等に努めました。</p>
--

<p>(2) 効率的な運営への取組について</p> <p>常に「コスト意識」「費用対効果」及び効率的・効果的な運営に心掛け、各種事業等の効率的な運営に積極的に取組みました。</p> <p>引続き計画節電等、利用者の協力を得て施設全体で取組み、経費節減効果を生むと共に効率的な施設運営に努めました。</p> <p>〔主な取組内容〕</p> <p>(1) 常に4事業部門が密接に連携し、各種事業等の運営にあたり効率的・効果的な事業運営に努めました。</p> <p>(2) 物品類の購入及び各種契約等にあたっては法人経理規程の遵守を徹底しました。</p> <p>(3) 環境整備委員会から職員意識の啓発を図ると共に、ご利用者への「節電への協力」等の施設全体で効率的な運営へ積極的に取組みました。</p>
--

<p>(3) 苦情受付体制について</p> <p>法人の定める「福祉サービスに関する苦情解決運営要領」及び「苦情対応事務処理要領」に基づき、苦情の申出や要望等適正・迅速に対応できる体制により、利用者の信頼と安心して利用できる施設づくりに努めました。</p>
--

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

緊急時（防犯・防災・その他）に備えた職員体制及び緊急対応等のマニュアルを整備していますが、万が一に備えての危機管理意識の訓練等に努めました。

なお、緊急事態が発生した場合は「緊急時連絡網」や「緊急時対応マニュアル」「事故対応マニュアル」及び「消防計画」等に従って、冷静に行動・対応できるよう定期的に研修や訓練等を実施しました。

〔対応内容〕

消防防災訓練（年間3回実施）

第1回 平成29年7月24日（月）17:15～18:15

第2回 平成29年11月28日（火）14:00～15:00

第3回 平成30年3月26日（月）17:15～18:15

〈訓練内容〉①通報③避難誘導訓練②初期消火訓練④ AED 取扱い訓練 ⑤特別避難場所等の理解他

(5) 事故防止への取組について

利用者の安心・安全と信頼性を高めるため、管内の定期巡視による設備の事故防止や区役所からの情報の他、報道されている情報なども活用し、日々注意喚起を行っています。また、日々の朝・夕のミーティング時や定例の研修会等により、事故防止の徹底に取組みました。その他、代表者で行う定例の事故防止・再発防止委員会を開催しました。

また、安全運転の意識向上と万が一の事故対応に全車にドライブレコーダーを搭載しております。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報保護に関する法令等の遵守徹底を図るため、体制及び取組みとして定期的な研修や朝・夕のミーティング時における注意喚起を日々行い、個人情報漏えい事故防止の徹底に取組みました。

また、「個人情報漏えい防止チェックシート」及び「個人情報保護取扱いに関する誓約書」の提出を活用し、個人情報保護及び漏えい防止対策の徹底を図りました。

(7) 情報公開への取組について

情報公開に関する法令等に基づき、研修・会議・ミーティング等の機会を通じて、職員への意識啓発に取組むと共に、施設情報を積極的に公開し透明性を確保することにより、地域住民の信頼性を高めて頼りになる施設づくりを推進しました。

また、施設内の情報ラウンジに各事業報告・事業計画・予算・決算書及び法人規程や各事業の規程・重要事項等、何時でも誰でも閲覧できるよう公開しています。

(8) 人権啓発への取組について

法人職員が合同で人権について話し合う「法人人権研修」に職員が参加。当事業所だけでなく法人の様々な職種、事業所の職員が相互に人権意識を高める機会となりました。また、研修に参加した職員が事業所内で伝達研修を行い人権の啓発に努めました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

職員及びボランティアが協働して、地球環境にやさしいゴミ減量化・資源のリサイクル化・省エネ化・緑化推進等の環境問題に積極的に取組んできました。

〔取組内容〕

・日々の節電・節水対策及び省エネ化意識の推進に取組みました。

・「ヨコハマ3R夢プラン」に基づき、ゴミの分別・減量化・資源リサイクル化対策の

推進に取り組みました。

・自主事業「園芸講座」を定期的を開催すると共に緑化推進事業と連携して、福祉と環境を結び付けたボランティアの育成及び緑化活動推進のネットワーク拡大に努めました。

・隣接する「樽町しょうぶ公園」の花壇の手入れや清掃活動等職員とボランティアが公園愛護会と連携し環境等への配慮に取り組みました。

また、引続き緑化対策及び節電対策の一環として、今年度も「緑のカーテン」を施設全体に拡大し、節電効果を高めることにより環境等への配慮に積極的に取り組みました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・管理者 1名 (包括支援センター主任ケアマネジャー兼務)
- ・担当者 専任職員8名 (常勤1名,非常勤7名)
兼務職員6名 (包括支援センター 社会福祉士・主任ケアマネジャー・
看護師・保健師)
- 事務職員1名 (非常勤)

《目標(取組、達成状況)》

- (1) 要支援状態の軽減、要介護状態になるのを予防するためご本人やご家族を尊重しながらもご自身の機能が生かせるようにケアプランの作成を行った。
- (2) 介護予防支援ケアプランに沿ったサービスが適切に実施できるよう各事業所・医療関係・福祉関係者等の連携に努めた。
- (3) 個人情報の取り扱いに厳重に注意し、郵送・FAXなどはダブルチェックを徹底して行った。
- (4) 機能回復訓練などの高齢者本人へのアプローチだけではなく、地域づくりなどの高齢者本人を取り巻く環境へのアプローチも含めたバランスのとれたアプローチができるように介護予防事業を見直した。
- (5) 年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民運営の通いの場を充実させ、人と人との繋がりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進に努めた。
- (6) リハ職等を活かした自立支援に資する取組を推進し、介護予防を機能強化に努めた。

《目標に対する成果等》

- 事業対象者、要支援者の主体性・意欲を引出し、目標志向型の介護予防ケアマネジメントに努めた。
- プランの中にフォーマルサービス以外の地域のインフォーマルサービス等を取り込み、地域の特性を活かした支援に努めた。
- 委託を行う場合はケアマネジャーが、適切なケアマネジメントを実践できるよう随時支援した。

【研修会】

4/27横浜市榎町地域ケアプラザ主催「介護予防・日常生活支援総合事業について」(26名)

《実費負担(徴収する場合は項目ごとに記載)》

- ・介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントについては、原則として負担なし。
- ・事業者の担当地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)の支払いが必要。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・高齢者が要介護状態になることをできる限り防ぐ
- ・要支援状態がそれ以上に悪化しないように改善、維持、悪化の遅延を図る
- ・生活上の様々な課題を抱える高齢者に対して適切な支援を行うことにより、要支援状態の予防やその重症化の予防、改善を図る。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
400	408	418	414	413	413
10月	11月	12月	1月	2月	3月
420	417	411	408	410	400

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

常勤 2 名体制

《目標に対する成果等》

- (1) 横浜共生会の基本理念である「人間としての尊重、自由と人権とプライバシーの尊重」に努め、利用者・家族の立場に立った、適切できめ細かいサービスの提供に努めました。
- (2) 計画的に研修に参加し能力向上に努めると共に、法令を遵守した公正・公立・中立な居宅サービス計画の作成を実施しました。
- (3) 行政、地域包括支援センター、医療機関、他サービス事業所など多職種との連携・協働に努め、利用者様が地域で生活できるよう支援いたしました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

● なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 同一法人内でのケアマネジャー会議を隔月開催し、幅広い情報共有・意見交換に努めました。その中で倫理研修や専門性の向上に向けた研修を実施し自己研鑽に努めました。
- ・ ケアプラザエリア内の多職種と定期的な研修会を実施し、顔の見える関係作り・情報の共有を図り、地域にも発信しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
5 3	5 1	5 1	5 4	5 7	5 6
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
5 7	5 8	5 7	5 9	6 2	6 1

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 介護サービス計画書作成・生活指導（相談援助等）・機能訓練（日常生活動作）
- 健康状態の確認・送迎・入浴・食事等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分 ※入浴される方は別途約54円かかります。
 - （要介護1） 764円
 - （要介護2） 892円
 - （要介護3） 1,024円
 - （要介護4） 1,157円
 - （要介護5） 1,290円
- 食費負担 750円
- リハビリパンツ（1枚） 100円（使用分のみ）
- パット（1枚） 30円（使用分のみ）

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:00 ~ 16:15（半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

管理者1名、生活相談員5名、看護職員6名、介護職員27名、送迎運転手11名、事務職員1名の計51名の職員が在籍し、1日22名程の職員が出勤しております。

《目標に対する成果等》

今年度は「一つの輪となり、充実した個別ケアを行います」を目標に、相談員、介助員、看護師、送迎員が情報共有をしながら、ご利用者様が選択できその人らしく過ごせるような支援をしてきました。もう少し運動したい、歩きたいという要望に少しでもお答えできるように、トイレ後などに少し遠回りして歩く距離を増やしたり、体操の参加を積極的に声掛けしたりして運動量を増やしました。食事面では機能低下により食べやすいように食形態を変えたり、嫌いな物があれば確認しメニューを変更したりしました。送迎では、ご家族に都合や車酔いされる方などにより送迎ルートや送迎時間を変えたり、同乗者の相性なども検討し快適な送迎に努めました。年度末の振り返りでは情報共有がなかなかできていなかった、目標をあまり意識しないで業務をしていたなどの意見があり来年度の課題としました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

スタッフ一人一人が重要ファイルや日誌を確認し情報収集に努め、御利用者様の变化や変更に対応してきました。その為、御利用者やご家族、ケアマネジャーに不満や不安をさせることが少なくなりました。シナプソロジーの導入については来年度に実施できるように調整しました。

《利用者実績（延べ人数）》

4月	5月	6月	7月	8月	9月
856	920	884	931	925	837
10月	11月	12月	1月	2月	3月
913	916	847	829	775	881

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 介護サービス計画書作成・生活指導（相談援助等）・機能訓練（日常生活動作）
- 健康状態の確認・送迎・入浴・食事等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 1, 832円
 - （要支援2） 1, 832円（週1回） 3, 757円（週2回）
- 食費負担 750円
- リハビリパンツ（1枚） 100円（使用分のみ）
- パット（1枚） 30円（使用分のみ）

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:00 ~ 16:15（半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

管理者1名、生活相談員5名、看護職員6名、介護職員27名、送迎運転手11名、事務職員1名の計51名の職員が在籍し、1日22名程の職員が出勤しております。

《目標に対する成果等》

今年度は「一つの輪となり、充実した個別ケアを行います」を目標に、相談員、介助員、看護師、送迎員が情報共有をしながら、ご利用者様が選択できその人らしく過ごせるような支援をしてきました。もう少し運動したい、歩きたいという要望に少しでもお答えできるように、トイレ後などに少し遠回りして歩く距離を増やしたり、体操の参加を積極的に声掛けしたりして運動量を増やしました。食事面では機能低下により食べやすいように食形態を変えたり、嫌いな物があれば確認しメニューを変更したりしました。送迎では、ご家族に都合や車酔いされる方などにより送迎ルートや送迎時間を変えたり、同乗者の相性なども検討し快適な送迎に努めました。年度末の振り返りでは情報共有がなかなかできていなかった、目標をあまり意識しないで業務をしていたなどの意見があり来年度の課題としました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

スタッフ一人一人が重要ファイルや日誌を確認し情報収集に努め、御利用者様の変化や変更に対応してきました。その為、御利用者やご家族、ケアマネジャーに不満や不安をさせることが少なくなりました。シナプソロジーの導入については来年度に実施できるように調整しました

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
30	27	29	27	26	28
10月	11月	12月	1月	2月	3月
28	30	27	26	26	27

平成29年度「横浜市榎町地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,077,500	119,839	13,957,661	13,957,661	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	64,400	64,400	事業参加費収入
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0	17,105	17,105	
印刷代	0		0	6,640	6,640	貸館利用者コピー代
自動販売機手数料	0		0	10,465	10,465	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当分)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	17,665,000	119,839	17,545,161	17,626,666	81,505	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,000,000	0	10,000,000	10,982,409	982,409	
本俸	6,464,000		6,464,000	7,013,158	549,158	職員本俸
社会保険料	1,138,000		1,138,000	1,275,433	137,433	健康保険料、厚生年金料等
手当計	2,200,000		2,200,000	2,489,069	289,069	
健康診断費	28,000		28,000	24,314	3,686	職員健康診断料
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	170,000		170,000	180,435	10,435	職員退職給付引当金
その他	0		0	0	0	
事務費	1,233,000	0	1,233,000	2,043,028	810,028	
旅費	7,800		7,800	1,020	6,780	事業、会議等交通費
消耗品費	300,000		300,000	249,841	50,159	事務消耗品等
会議賄い費	9,000		9,000	0	9,000	会議用お茶等
印刷製本費	10,000		10,000	7,050	2,950	封筒印刷
通信費	501,000		501,000	793,350	292,350	電話、郵送料等
使用料及び賃借料	0	0	0	4,200	4,200	
横浜市への支払分	0		0	4,200	4,200	自販機設置使用料
その他	0		0	0	0	
備品購入費	40,000		40,000	317,715	277,715	カーテン、懐中電灯等
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	40,000		40,000	92,549	52,549	賠償責任保険
職員等研修費	10,000		10,000	2,520	7,480	コーディネーター共通研修等交通費
振込手数料	31,000		31,000	41,278	10,278	消耗品等支払振込手数料
リース料	84,200		84,200	207,578	123,378	会計ソフト、マット等リース料
手数料	0		0	324	324	金種指定支払手数料
地域協力費	0		0	0	0	
その他	200,000		200,000	325,603	125,603	コピー機パフォーマンス料等保守料、港北区社協等諸会費、自転車等修繕費、駐車料金等車両費
事業費	331,000	0	331,000	341,492	10,492	
運営協議会経費	42,000		42,000	25,657	16,343	予算：指定額
指定管理料充当 事業	289,000		289,000	315,835	26,835	みんなのたまりば等事業費
管理費	5,301,000	67,014	5,368,014	5,175,853	192,161	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	2,547,000	0	2,547,000	2,536,930	10,070	
電気料金	752,000		752,000	752,000	0	
ガス料金	482,000		482,000	482,000	0	
水道料金	1,313,000		1,313,000	1,302,930	10,070	
清掃費	1,509,000		1,509,000	1,507,919	1,081	貸館日常清掃、定期清掃等
修繕費	474,000	67,014	541,014	354,161	186,853	予算：指定額
機械警備費	69,000		69,000	68,803	197	機械警備
設備保全費	616,000	0	616,000	614,042	1,958	
空調衛生設備保守	219,000		219,000	218,352	648	空調機器保守点検、年間保守
消防設備保守	48,000		48,000	47,780	220	消防設備点検
電気設備保守	32,000		32,000	31,609	391	電気設備保守点検
害虫駆除清掃保守	31,000		31,000	30,580	420	害虫駆除
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	286,000		286,000	285,721	279	エレベーター、自動ドア等保守点検
共益費	86,000		86,000	93,998	7,998	年間ごみゼロルート回収経費
その他	0		0	0	0	
公租公課	800,000	0	800,000	878,592	78,592	
事業所税			0		0	
消費税	800,000		800,000	878,592	78,592	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	17,665,000	67,014	17,732,014	19,421,374	1,689,360	
差引	0	186,853	186,853	1,794,708	1,607,855	

自主事業費収入	289,000		289,000	0	289,000	予算：指定管理料に含む
自主事業費支出	289,000		289,000	315,835	26,835	
自主事業収支	0	0	0	315,835	315,835	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	10,465	10,465	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	4,200	4,200	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	6,265	6,265	

平成29年度「横浜市榊町地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	39,576,000	1,541,856	38,034,144	38,034,144	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	0	5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	20,700	20,700	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0	10,464	10,464	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	10,464	10,464	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	45,516,000	1,541,856	43,974,144	44,005,308	31,164	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	41,367,000	0	41,367,000	40,790,317	576,683	
本俸	21,087,000		21,087,000	20,840,174	246,826	職員本俸
社会保険料	5,423,000		5,423,000	5,172,564	250,436	健康保険料、厚生年金料等
手当計	13,311,000		13,311,000	13,311,742	742	
健康診断費	72,000		72,000	61,422	10,578	職員健康診断料
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	1,474,000		1,474,000	1,404,415	69,585	職員退職給付引当金
その他	0		0	0	0	
事務費	1,527,000	0	1,527,000	1,453,468	73,532	
旅費	40,000		40,000	24,830	15,170	事業、会議等交通費
消耗品費	270,000		270,000	256,043	13,957	事務消耗品等
会議備い費	0		0	10,584	10,584	地域ケア会議等お茶
印刷製本費	11,000		11,000	7,050	3,950	封筒印刷
通信費	240,000		240,000	180,319	59,681	電話、郵送料等
使用料及び賃借料	0	0	0	4,200	4,200	
横浜市への支払分	0		0	4,200	4,200	自販機設置使用料
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	252,936	252,936	複合機等リース料
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	47,800		47,800	65,190	17,390	賠償責任保険
職員等研修費	150,000		150,000	77,330	72,670	研修受講料、交通費
振込手数料	26,000		26,000	27,270	1,270	消耗品等支払振込手数料
リース料	301,200		301,200	32,240	268,960	会計ソフト
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	441,000		441,000	515,476	74,476	絆創膏等保健衛生費、自転車等修繕費、コピー機パフォーマンス料等保守料、車両保険料
事業費	1,136,000	0	1,136,000	999,310	136,690	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	46,000		46,000	86,883	40,883	民児協とケアマネ懇談会等事業費
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	181,253	30,253	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	227,174	81,826	予算:指定額
管理費	1,486,000	0	1,486,000	1,358,037	127,963	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	750,300	0	750,300	674,373	75,927	
電気料金	222,300		222,300	197,000	25,300	
ガス料金	152,000		152,000	126,700	25,300	
水道料金	376,000		376,000	350,673	25,327	
清掃費	401,000		401,000	400,839	161	日常清掃、定期清掃
修繕費	126,000		126,000	76,327	49,673	予算:指定額
機械警備費	19,000		19,000	18,289	711	機械警備
設備保全費	164,700	0	164,700	163,222	1,478	
空調衛生設備保守	59,000		59,000	58,042	958	空調機器保守点検、年間保守
消防設備保守	13,000		13,000	12,700	300	消防設備点検
電気設備保守	8,500		8,500	8,402	98	電気設備保守点検
害虫駆除清掃保守	8,200		8,200	8,128	72	害虫駆除
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	76,000		76,000	75,950	50	エレベーター、自動ドア等保守点検
共益費	25,000		25,000	24,987	13	年間ごみゼロルート回収経費
その他	0		0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	45,516,000	0	45,516,000	44,601,132	914,868	
差引	0	1,541,856	1,541,856	595,824	946,032	

自主事業費収入	506,000		506,000	20,700	485,300	予算:指定管理料を含む
自主事業費支出	506,000		506,000	495,310	10,690	
自主事業収支	0		0	474,610	474,610	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			10,464		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			4,200		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			6,264		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名：樽町地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
	収入	介護保険収入	10089	8133	92098
その他		12548	489	22990	8661
介護予防ケアマネジメント 費		12548	324		7011
事業・負担金収入				11444	869
認定調査			165		
食費収益				8403	781
その他				3143	
収入合計(A)		22637	8622	115088	8661
支出		人件費	14566	8358	
	事務費	1385	449		4426
	事業費	23	131		16459
	管理費	179	695		9547
	その他	9362	0		2802
	利用者負担軽減額				
	消費税				
	介護予防プラン委託料	9362			
	利用者等外給食費				2802
	その他				
支出合計(B)	25515	9633		127249	
収支 (A)－(B)		-2878	-1011		-3500

平成29年度 自主事業報告書

横浜市樽町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなのたまり場	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 子どもから高齢者まで誰もが集える世代間交流サロン。参加者同士の交流及び悩みや不安を解消できる場として活用してもらう。</p> <p>【実施内容等】 フリースペース（入退出自由） 7月に夏祭り・12月にクリスマス会を実施 今年度は、より多世代交流が図れるよう、10月にミニ企画として「港北むかしばなし紙芝居の会 たまたまてばこ」による紙芝居と昔遊びを実施。</p>	<p>1回/月 (第1水曜) 7月・12月は別に特別企画実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁将棋サロン	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 閉じこもり予防や介護予防、また世代間交流を目的に、囲碁将棋を通じて交流を深めてもらう。</p> <p>【実施内容等】 入退出自由で対局していただく 囲碁将棋ボランティアに常時いていただき、一人で来ても対局できる体制を維持</p>	<p>1回/月 (第2水曜)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	<p>【対象者】 高齢者</p> <p>【目的】 介護者同士が近況や思いを気兼ねなく話せる場を設定することにより、介護者の負担軽減を目的とする。</p> <p>【実施内容等】 介護者同士での話し合いや交流 今年度は、年3回程度ミニ講座を開催（6月：配食弁当の紹介&ミニ栄養講座 10月：おむつ紹介&当て方講座 2月：施設紹介）</p>	<p>1回/月 (第3金曜)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
樽町グリーンライフセミナー	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 屋上庭園などを活用して、植物の栽培や手入れ方法を講義と実践を交えて行う。閉講後はOB会の「ガーデンサークルほほえみ」への加入を促進し、ボランティア活動へのきっかけとしてもらう。</p> <p>【実施内容等】 春夏編：3月～7月全5回 秋冬編：8月～12月全5回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庭の設計について ・庭園プランターの植え替え ・寄せ植え作り ・樹木の剪定方法 ・園芸福祉やボランティア活動について 他 	<p>春夏編：月1回 (3月～7月) 秋冬編：月1回 (8月～12月)</p>

平成29年度 自主事業報告書

横浜市樽町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふれあい広場花しょうぶ	<p>【対象者】 高齢者</p> <p>【目的】 地域の自主活動グループによる、一般高齢者等を対象としたミニデイサロン。</p> <p>【実施内容等】 綱島・樽町・大曾根・師岡各地区の保健活動推進員が輪番制により、毎月企画運営。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶話会 ・地域の活動団体による演芸 ・体操 ・その他 	1回/月 (第4金曜)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ガーデンサークルほほえみ	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 園芸講座卒業生による自主グループ。庭園の手入れや隣接するしょうぶ公園内管理支援等の活動。</p> <p>【実施内容等】 施設内庭園・菜園や隣接公園の手入れ ※港北オープンガーデンにも参加</p>	2回/月 (第1・3木曜) 8月と12月～3月は1回/月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニ樽サロン	<p>【対象者】 障害者</p> <p>【目的】 地域の居場所として精神障害をお持ちの方を対象にサロンを実施。昼食や喫茶、ゲーム等を行う。</p> <p>【実施内容等】 ・昼食やレクリエーションを中心に実施。また、年に数回演奏会やクリスマス会等の企画も実施。</p>	1回/月 (第1木曜)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
童謡の会びよびよくらぶ	<p>【対象者】 乳幼児</p> <p>【目的】 童謡を歌いながら、親子で楽しい時間を過ごしてもらう。</p> <p>【実施内容等】 参加者同士で歌ったり、手遊び等を交えながら交流を深めてもらう。</p> <p>前期：4～9月／後期10月～3月 前後期でそれぞれ参加メンバーを募集</p>	1回/月 (第2金曜)

平成29年度 自主事業報告書

横浜市樽町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
放課後サークル たるとも	<p>【対象者】 障害者</p> <p>【目的】 樽地区社協が主催で、樽町在住の個別支援級に通う児童を対象に、放課後の余暇活動を行う。参加児童やその保護者同士での交流を通じて、ボランティアも含めた双方の顔の見える関係を構築してもらう</p> <p>【実施内容等】 毎回体操や工作、調理など子どもたちが主体となって活動をしてもらう。 ・季節行事（節句・七夕・お雛様作り） ・調理実習 ・体操、ストレッチ ほか ・8月はOB・OGと家族も含めた特別企画を実施</p>	1回/月 (第2火曜)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防サークル 支援	<p>【対象者】 高齢者</p> <p>【目的】 介護予防事業OB会の体操グループ。一般高齢者等を対象とした地域の自主活動グループの支援を行う。</p> <p>【実施内容等】 「すみれのびのび体操」 「さわやか」 「はなみずき会」 「師岡いきいき体操」（師岡民児協） 「大曾根らくらく体操」（大曾根保活） 「はつらつ体操」（綱島上町：グリーンサラウンドシティ綱島） 各サークルの活動支援</p>	団体により 1回～2回/月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にじいろ	<p>【対象者】 障害者</p> <p>【目的】 幼少時から学齢期の中に転落や交通事故等により、高次脳機能障害等と診断された方々への地域での支援を行う。グループの立ち上げ支援と交流企画の調整などを行いながら、自主グループ化をねらう。</p> <p>【実施内容等】 レクリエーション（スポーツや調理など） ・ストラックアウト、ボッチャ、グランドゴルフ他</p>	2回/月 (第2・4土曜)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
たるまち芸術祭	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 日頃、貸館の利用やボランティアとして活動している団体様向けに、活動発表の場を提供し、地域とのつながりを強めてもらう。また、各種団体の方々の生き甲斐や意識の高揚の場としても活かしていただく。</p> <p>【実施内容等】 5月27日 活動団体ステージ発表 5月21日～27日 作品展示</p>	1回/年（5月）

平成29年度 自主事業報告書

横浜市樽町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
法テラス無料法律相談会	【対象者】 高齢者 【目的】 法テラスかながわより派遣された弁護士による個別相談会を開催。財産管理、多重債務、消費者問題、犯罪被害、近隣トラブル等の法的な問題について、身近な場所で総合的な法律相談の機会を提供。 【実施内容等】 6月10日実施。1名につき30分程度。 法テラスかながわより派遣された横浜弁護士会所属弁護士による個別相談会。	1回/年（6月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパと一緒に遊びましょう	【対象者】 乳幼児 【目的】 親子遊びや参加者同士の情報交換を通じて、父親の育児参加や地域活動の参加についての重要性を理解してもらう。 【実施内容等】 港北区役所子ども家庭支援課の保健師及び4地区の主任児童委員の協力のもと実施。 7月：水遊び・親子遊び・地域のイベント情報の発信 11月：絵本読み聞かせのコツ・親子遊び・イベント情報の発信（会場：北綱島小図書室） 2月：乳幼児の救急法	3回/年（7月・11月・2月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパマナブ	【対象者】 乳幼児 【目的】 地域子育て支援拠点どろっぷで立ちあがったパパサークル（P35）による活動の一つで、実生活に役立つ「パパスキルの向上」を目的とする。 【実施内容等】 港北区まちな先生の講師に招く。 7月：パン作り	1回/年（7月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
音楽ムーブメント	【対象者】 障害者 【目的】 外出が困難な障害児を中心に、地域施設への外出及び音楽を感じてリラックスできる場を提供することを目的とする。 【実施内容等】 放課後等デイサービス「わくわくさん綱島東の扉」「わくわくさん日吉の扉」にて年数回開催している事業を、地域住民にも体験してもらう。 ・音楽とともに体を動かす	1回/年（7月）

平成29年度 自主事業報告書

横浜市樽町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こうほくなつとも	<p>【対象者】 障害者</p> <p>【目的】 障害児を対象に、夏休みの期間、多種多様な経験をする機会の提供。</p> <p>【実施内容等】 各コース2日間に渡って、参加者とボランティアがペアを組み、余暇活動を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樽町コース 1日目：調理・流しソーメン・すいか割り・空気砲工作 2日目：三菱みなとみらい技術館外出 ・新吉田コース 1日のみ：調理・流しソーメン・すいか割り・空気砲工作 <p>事前にボランティア向けのコース別説明会を実施</p>	7月（2日） 8月（1日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
やさしい相続・遺言・後見教室	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 相続、遺言、成年後見に関わる制度の周知と個別のう律相談機会の提供を目的とする。</p> <p>【実施内容等】 司法書士による講義と個別相談会</p> <p>1回目：やさしい相続・遺言・後見教室 2回目：成年後見制度の基礎</p>	2回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボラリーグこうほく	<p>【対象者】 子ども</p> <p>【目的】 区内在学、在住の中学生、高校生、大学生、専門学生及び区外の学生を対象とし、ボランティア体験の機会を提供する。</p> <p>【実施内容等】 事前オリエンテーションを受けた学生を受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当ケアプラザについて、デイサービスについて講義 ・デイサービス体験 	2回（8月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学生ボランティア体験受入	<p>【対象者】 子ども</p> <p>【目的】 地元の樽町中学校生徒をはじめとした、地域の学生（小中高大学）のボランティア体験を通じて、地域の福祉や保健に関する啓発や理解を深めてもらう場の提供。</p> <p>【実施内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の疑似体験（車いす・議事装具体験、送迎車試乗等） ・ケアプラザやボランティアについての講義 ・デイサービスでのボランティア体験 	8月（2回）

平成29年度 自主事業報告書

横浜市樽町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
草木染め体験教室	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 子どもから高齢者まで、楽しく交流を深めながら参加してもらう。なお、子どもに関しては、夏休みの自由研究の作品等として活かしてもらう。</p> <p>【実施内容等】 ハーブを使用し、自由に模様を作成してもらい、その場で染色をしていただく。</p>	1回/年（8月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こうほくからふる	<p>【対象者】 障害者</p> <p>【目的】 地域の余暇活動のニーズに応えるべく、区内CP6館が合同で個別支援級に通う児童生徒を対象に開催。毎回、対象年齢を分けることで、一人でも多くの参加を促す。</p> <p>【実施内容等】 毎回、対象学年を設定し、年代にあった余暇活動を行う。 (小学校・中学生・高校生) ・9月中学生版：八景島シーパラダイス ・12月高校生版：上野動物園 ・2月小学生版：三菱みなとみらい技術館</p>	3回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学生職業体験受入	<p>【対象者】 子ども</p> <p>【目的】 地域の学生の体験学習への協力を通じて、地域の福祉や保健に関する啓発や理解を深めてもらう場の提供。</p> <p>【実施内容等】 中学生：福祉の仕事、ケアプラザについて、デイサービスについて講義。デイサービス体験 小学生：ケアプラザについて講義と施設見学、デイサービス見学。</p>	随時受入 【実績】 9月1回 10月3回 11月1回 1月1回 2月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大曽根福祉まつり	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 毎年大曽根地区にて行われている地域のイベント。ケアプラザも地域との連携をはかるため毎年参加。</p> <p>【実施内容等】 ・主に子ども向けの工作（毛糸のボンボンやほうき作り） ・ケアプラザ事業紹介（パネル） ・介護相談受付</p>	1回/年（11月）

平成29年度 自主事業報告書

横浜市樽町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
にこにこ広場	<p>【対象者】 子ども</p> <p>【目的】 年1回区域で行われる「わくわく子育て広場」の地域版として、各保育園の先生たちが集まって、日頃、園でおこなっているお遊び等を体験してもらう。</p> <p>【実施内容等】 保育園の先生による、手遊び、読み聞かせ、おもちゃ作り他</p>	1回/年（10月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
開所15周年記念事業 キララまつり	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 これまでに、地域の皆様と築いてきたつながりなどを維持し、さらに地域住民に対して福祉保健活動のご理解が深まるように、地域の皆様とケアプラザとが協働して開催。 ※4地区の代表者による実行委員会を組織して、事業の企画運営を担う。</p> <p>【実施内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会セレモニー ・綱島、大曾根、樽町、師岡地域の方々（地区社協・連合町内会・保健活動推進員など）による模擬店 ・樽町CPエリアのケアマネジャーサークル「樽町ケアサークル」による活動紹介と福祉用具等の展示 ・認知症キッズサポーター養成講座 ・あそびの広場（子ども向けバルーンアート、魚釣りなど） ・樽町CPエリアの障害者作業所販売 ・ケアプラザ15周年のあゆみと貸館登録団体I紹介展示 <p>※ひとつプラン港北樽町地区の「たるまちふれあいのつどい」同時開催</p>	1回/年（11月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
つなしまイーストフェスティバル	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 今年で8回目を迎える、綱島東小学校PTA主催によるイベント。ケアプラザも地域との連携をはかるため昨年より参加。介護予防の啓発やケアプラザの周知を行う。</p> <p>【実施内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に子ども向けの工作（毛糸のボンボンやほうき作り） ・ケアプラザ事業紹介（パネル） ・認知症キッズサポーター養成講座 	1回/年（11月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
行政書士巡回無料相談	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的・実施内容】 相続、遺言、成年後見など専門的な相談を身近な地域の中で受ける事ができる機会の提供。成年後見制度の普及啓発を目的とする。コスモス成年後見サポートセンターの協力を得て区内ケアプラザ、区役所、区社協にて巡回相談会を実施。</p>	1回/年（10月）

平成29年度 自主事業報告書

横浜市樽町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
基礎から学ぶ剪定講座	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 庭木の剪定や道具の手入れなど実践的に行い、主に男性の地域参加を狙いとする。また、参加者同士の交流も深めてもらう。</p> <p>【実施内容等】 講義：樹木の特性や剪定方法、道具の使い方など。 実習：施設内の植栽や隣接するしょうぶ公園の樹木を教材にしながら、剪定実習をしてもらう。</p>	1回/年（2月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
樽町民児協とケアマネ懇談会	<p>【対象者】 樽町地域ケアプラザ担当エリア及び近隣のケアマネジャーと樽地区民生委員児童委員</p> <p>【目的】 ケアマネジャーと民生委員児童委員の情報提供・意見交換の場を設定し、地域における関係機関とケアマネジャーとの連携体制構築を目的とする。</p> <p>【実施内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樽町地域ケアプラザの役割 ・ケアマネジャーの役割 ・ケース事例紹介後グループワークにて意見交換 他 	1回/年（5月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
師岡民児協とケアマネ懇談会	<p>【対象者】 樽町地域ケアプラザ担当エリア及び近隣のケアマネジャーと師岡地区民生委員児童委員</p> <p>【目的】 ケアマネジャーと民生委員児童委員の情報提供・意見交換の場を設定し、地域における関係機関とケアマネジャーとの連携体制構築を目的とする。</p> <p>【実施内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樽町地域ケアプラザの役割 ・ケアマネジャーの役割 ・ケース事例紹介後グループワークにて意見交換 他 	1回/年（2月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
事例検討会	<p>【対象者】 港北区エリアを担当するケアマネジャー</p> <p>【目的】 実際の事例を通じ、その関わり方や効果的な支援方法などを、その根拠も挙げながら学び合うことを目的とする。</p> <p>【実施内容等】 スーパーバイザーを招き、事例提供者から事例紹介後、グループワークを実施。スーパーバイザーから講評もいただく。</p>	3回/年（5月・9月・10月）

平成29年度 自主事業報告書

横浜市樽町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアプラザ担当地区を知るツアー	<p>【対象者】 樽町地域ケアプラザ職員</p> <p>【目的】 職員が担当エリアを正確に知ることで区境や町の境を超えた日常生活範囲を把握することができ、具体的に必要な生活支援のコーディネートができるようにすることが目的。</p> <p>【実施内容等】 担当エリアの境界線沿いを回る。要所で生活支援コーディネーターより、地域資源等の説明実施。</p>	1回/年 (9月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症キャラバンメイト懇談会	<p>【対象者】 樽町地域ケアプラザのキャラバンメイト</p> <p>【目的】 キャラバンメイト同士で定期的に顔の見える関係を作ると共に、今後の取り組みの方向性について検討する。</p> <p>【実施内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動状況報告 ・意見交換 	2回/年 (6月・2月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 認知症の理解・啓発</p> <p>【実施内容等】 認知症の理解、対応例、SOSネット（かえるネット）、相談窓口、医療機関等の情報提供、予防講座を地域の活動団体、学校等の施設、地域の企業、地域のお祭り等で行う。</p>	随時対応 今年度は12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成29年度 自主事業収支報告書

横浜市榎町地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
にこにこ広場	未就園児と保護者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	50名		包括						
	0円		介護						
			生活						
開所15周年記念事業 キララまつり	地域住民	157013	地活	67,622	0	0	0	26,149	130,864
	470名		包括	16905					
	0円		介護	0					
			生活	72486					
行政書士 巡回無料相談	地域住民	0	地活		0	0	0	0	0
	1名		包括	0					
	0円		介護						
			生活						
基礎から学ぶ剪定講座	地域住民	13000	地活	5,000	8,000	0	8,000	0	5,000
	11名(内職員3名含む)		包括						
	1000円		介護						
			生活						
つなしまイーストフェス ティバル	地域住民	0	地活		0	0	0	0	0
	80名		包括						
	0円		介護						
			生活						
榎町民児協とケアマネ懇 談会	榎町民生委員・児童委員・ケアマ	13477	地活		0	0	0	0	13477
	45名		包括	13477					
	0円		介護						
			生活						
師岡民児協とケアマネ懇 談会	師岡民生委員・児童委員・ケアマ	24092	地活		0	0	0	0	24092
	30名		包括	24092					
	0円		介護						
			生活						
事例検討会	地域のケアマネジャー	22500	地活		0	0	22500	0	0
	101名		包括	22500					
	0円		介護						
			生活						
認知症キャラバンメイト 懇談会	認知症キャラバンメイト	4572	地活		0	0	0	0	4572
	26名		包括	4572					
	0円		介護						
			生活						
ケアプラザ担当地区を知る ツアー	ケアプラザ職員	580	地活		0	0	0	580	0
	27名		包括						
	0円		介護						
			生活	580					
認知症サポーター養成 講座	地域住民	4355	地活		0	0	0	0	4355
	212名		包括	4355					
	0円		介護						
			生活						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						